

IT・エレクトロニクス 技術戦略シンポジウム 2010 ～我が国の産業競争力の復活に向けて～

- 主催：技術戦略委員会
- 担当部署：知的基盤部（技術戦略G）
- 参加者数：90名

概要

我が国の国際競争力が低迷する中で、社会構造や市場が大きく変わろうとしている昨今、依然として先行きが見えない厳しい状況が続いています。

当協会の「技術戦略委員会」（委員長：須藤亮／（株）東芝）及びその下部組織である「技術政策委員会」（委員長：荒川泰彦／東京大学）では、グローバル競争に勝ち抜くにはどうしたらいいか、ものづくりにおける新興国への対応や、技術的優位性を保持する標準化戦略など、技術戦略という視点で、現在調査を行っています。

これらの活動の一環として、我が国の産業競争力強化へ向けた対応策を探ることをテーマにして、去る11月26日（金）に、東京／中央大学駿河台記念館において「IT・エレクトロニクス技術戦略シンポジウム2010」を開催しました。

今回のシンポジウムでは、須藤技術戦略委員長から挨拶を頂いた後、経済産業省／商務情報政策局の師田晃彦デバイス産業戦略室長から、産業競争力の復活に向けての技術政策の在り方についてご紹介を頂きました。また、技術を活かす知の開発競争、スマートコミュニティ戦略と将来展望、ITの功罪により今後起こり得るシナリオについて、それぞれ第一線で活躍している妹尾堅一郎教授（東京大学）、市川知也氏（NEDO）、亦賀忠明氏（ガートナー・ジャパン（株））からご紹介頂きました。

最後に、荒川泰彦技術政策委員長から、講演者にご参加頂きました方へのお礼と、全体の総評を頂き、無事閉会となりました。

プログラム

- 開会の挨拶
（社）電子情報技術産業協会 常務理事 長谷川英一 氏
- 委員長の挨拶
（社）電子情報技術産業協会 技術戦略委員会 委員長 須藤 亮 氏（（株）東芝 執行役常務 研究開発センター長）
- 「我が国の産業競争力の復活に向けての技術政策の在り方」
経済産業省 商務情報政策局 デバイス産業戦略室長 師田晃彦 氏
- 「技術を活かす知の開発競争～プロテクノロジーからプロビジネスモデルへ～」
NPO法人 産学連携推進機構 理事長 妹尾堅一郎 氏（東京大学 知的資産経営総括寄付講座 特任教授）
- 「スマートコミュニティ戦略と将来展望」
（独）新エネルギー・産業技術総合開発機構 スマートコミュニティ部長 市川知也 氏
- 「ITの功罪により今後起こり得るシナリオについて」
亦賀忠明 氏（ガートナー・ジャパン（株） バイスプレジデント兼上級アナリスト）
- 総評
（社）電子情報技術産業協会 技術政策委員会委員長 荒川泰彦 氏（東京大学 生産技術研究所 教授）



須藤委員長（技術戦略委員会）



妹尾堅一郎教授（東京大学）



会場の様子